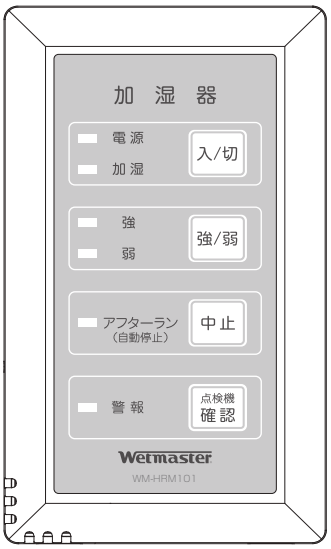
Wetmaster®

施工業者様向け

天埋カセット型、滴下浸透気化式加湿器 てんまい加湿器®

設定要領書



加湿器本体

WM-VCJ2200
WM-VCJ2200A

リモコンスイッチ

標準リモコンスイッチ
(WM-VKRM-1A)

ヒューミ付リモコン
(WM-HRM101)

●このたびはウエットマスター滴下浸透気化式加湿器をご採用いただき、まことにありがとうございます。

●この設定要領書には、安全についての注意事項を記載しています。この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また、安全を確保するために、作業の前に必ずお読みいただき、正しい施工を行ってください。

●加湿器の施工方法については別冊「施工要領書」をご参照の上、確実に施工してください。

●施工および各種設定後の試運転作業は別冊「試運転作業要領書」をご参照ください。

QR コードについて

本書では、説明を補完するための情報を、QR コードによりご案内しています。
ご利用時に発生するパケット通信料はお客さまのご負担となります。WiFi 環境下でのご利用をお勧めいたします。
※ QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

もくじ

安全のために必ず守ること …… 1

1 はじめに
- 1-1 本書の見方 …… 2
- 1-2 設定作業の位置と詳細 …… 3

2 リモコンスイッチ初期設定
- 2-1 アドレス設定方法 …… 5
- 2-2 加湿器本体接続台数の確認方法 …… 5

3 外部信号出力設定
- 3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合 …… 6
- 3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合 …… 7

4 外部機器との連動運転設定
- 4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定 …… 8
- 4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合 …… 9
- 4-3 加湿器本体内蔵のヒューミディスタットで連動運転を行う場合 …… 10

5 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合の設定 …… 11

6 運転動作
- 6-1 リモコンスイッチによる運転動作 …… 13
- 6-2 基本的な運転動作 …… 13
- 6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能 …… 14
- 6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号） …… 15

7 ヒューミ付リモコンによる各種設定
- 7-1 各モードについて …… 16
- 7-2 設定モード …… 17
  - a 使用するヒューミディスタットの選択 …… 17
  - b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定 …… 18
  - c 湿度検知の感度変更 …… 19
  - d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更 …… 20
- 7-3 設定確認モード …… 21
- 7-4 設定初期化モード …… 23

8 VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットの設定湿度変更 …… 24

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて
- 9-1 制御グループパターンの確認 …… 25
- 9-2 VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する …… 26
- 9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する 27
- 9-4 VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化し、ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する 28
- 9-4 使用できない制御パターン …… 29

安全のために必ず守ること

・この「安全のために必ず守ること」をよくお読みの上、取り扱ってください。
・ここに記載した注意事項は、安全に関する重大な内容です。必ず守ってください。
・誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡、重症を負う可能性があるもの
⚠注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生に結びつくもの

・図記号の意味は以下のとおりです。

必ず守る	絶対しない	触らない	濡手禁止 絶対に濡れた手で触らない	水濡禁止 絶対に水に濡らさない

⚠警告

必ず守る
取付工事は、専門業者に依頼する
取付工事に不備があると、水もれや感電、火災等の事故の原因になります。

必ず守る
高所作業時の安全を確保する
高さが２メートル以上の箇所で作業を行うときは、適正な足場を確保し安全帯を使用する等、墜落による作業者の危険を防止するための措置を講じてください。

必ず守る
作業時は、けが防止のため保護用手袋を着用してください
やけど・けがの原因になります。

必ず守る
ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う
通電したままの作業は感電の原因になります。

必ず守る
活線作業を行う際は、絶縁用保護具を着用するか、活線作業用器具を使用する
適切な保護具、器具を使用しない場合、感電の原因になります。

必ず守る
電気配線は所定のケーブルを使用して確実に接続し、端子接続部にケーブルの外力が伝わらないように確実に固定する
接続や固定が不完全な場合、発煙、火災の原因になります。

必ず守る
電気工事は、電気工事士の資格のある方が、「電気設備に関する技術基準」「内線規定」および製品添付の説明書類に従って施工する
電源回路要領不足や取付不備があると感電・火災の原因になります。

必ず守る
加湿器元電源には、必ず加湿器専用の漏電ブレーカを取り付ける
漏電ブレーカが取り付けられていないと、感電の原因になります。

絶対しない
改造はしない
故障や水もれ・感電・火災の原因になります。

水濡禁止
加湿器本体・リモコンスイッチに水、液体をかけない
ショート・漏電・感電・事故・発煙・火災の原因になります。

濡手禁止
濡れた手で電気部品に触ったり、スイッチ・ボタンを操作しない
感電・事故・発煙・火災の原因になります。

触らない
運転中および運転停止直後の電気部品に素手で触らない
やけど・感電の原因になります。

⚠注意

必ず守る
水道法、消防法等に規制される部材の取り扱いについては、専門業者に依頼する
法令を遵守した施工が必要です。

絶対しない
濡れて困る物の上に加湿器を設置しない
適切にメンテナンスがされていない場合、水もれの恐れがあります。

必ず守る
アース接続（D 種接地工事）を行ってください
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。アースが不完全な場合は、感電の原因になります。

絶対しない
移動できないものの上に加湿器を設置しない
後々のメンテナンスができなくなる恐れがあります。

1. はじめに

1-1 本書の見方

- てんまい加湿器 VCJ タイプは、加湿器本体・リモコンスイッチそれぞれに、ヒューミディスタット機能有 / 無を用意しており、それぞれの機器組み合わせにより設定作業の項目が異なります。
- 本書では、各設定項目の作業に該当する加湿器本体、リモコンスイッチ、湿度検知機器の組み合わせを以下のように記しています。また、本書ではヒューミディスタット（湿度調節器）を「ヒューミ」または「HS」と略して表記する場合があります。
- 制御グループパターンイメージ図中の○は湿度検知するヒューミディスタット、✕は使用しないヒューミディスタットを表します。

機器構成が該当する設定作業

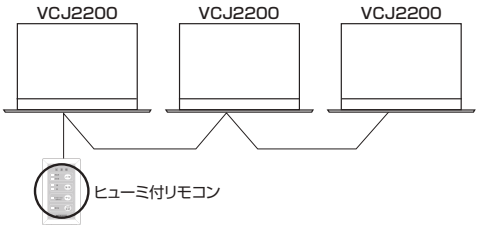
機器構成が該当しない設定作業

例 1）全ての機器構成で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

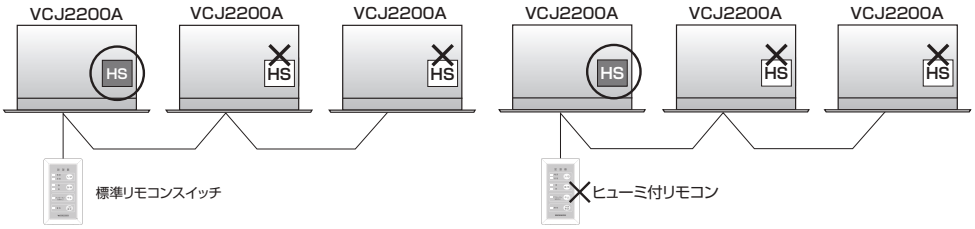
例 2）VCJ2200 にヒューミ付リモコンを接続しヒューミ付リモコンで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A



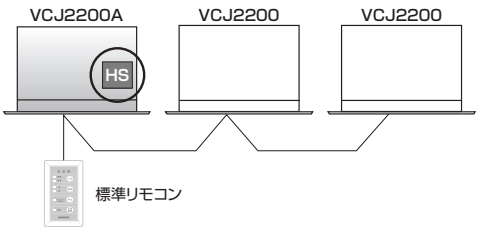
例 3）VCJ2200A に標準リモコンスイッチまたはヒューミ付リモコンを接続し、加湿器本体内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A



例 4）VCJ2200 と VCJ2200A に標準リモコンスイッチを接続し、VCJ2200A 内蔵のヒューミディスタットで湿度検知を行う場合で対象となる設定作業。

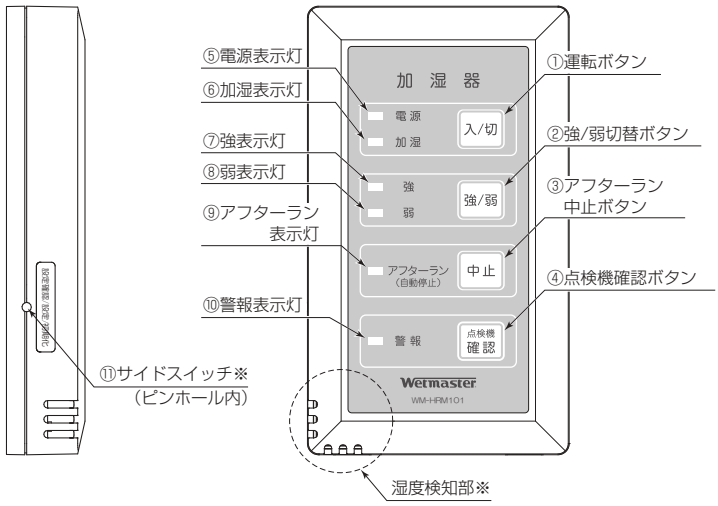
加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A



1-2 設定作業の位置と詳細

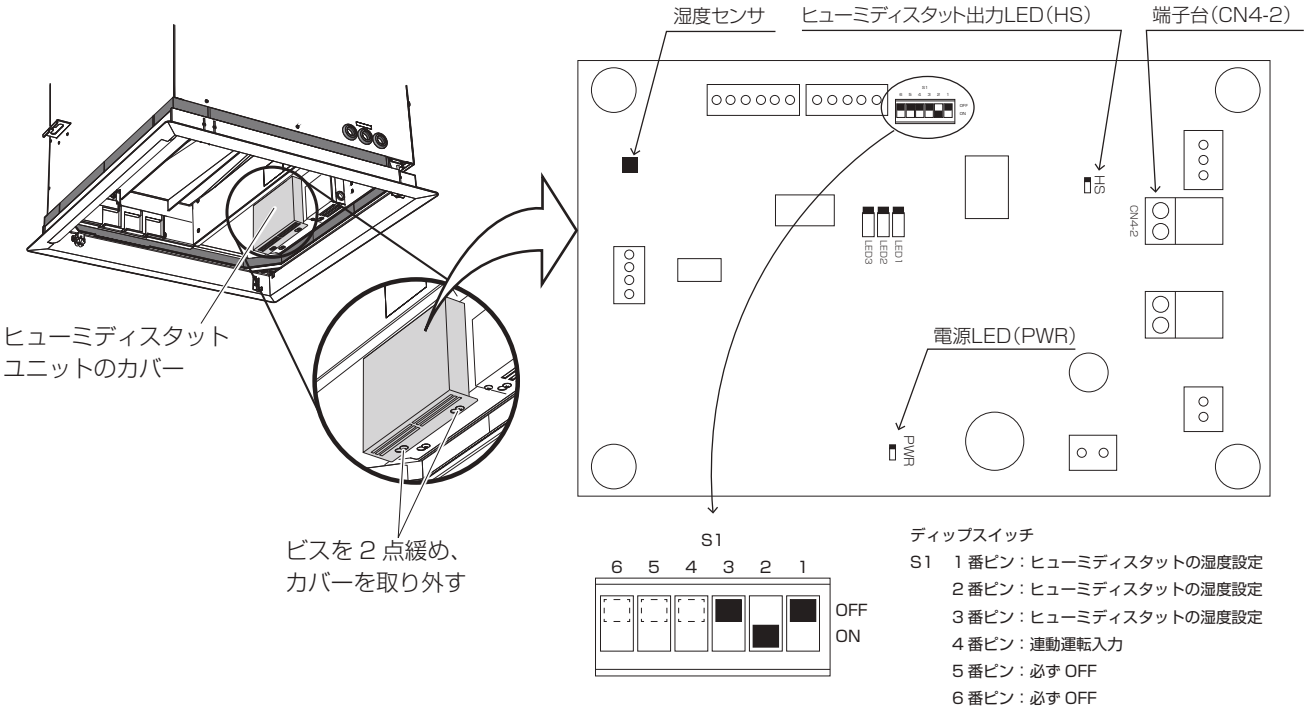
● 機器構成、設定項目により、「リモコンスイッチ上で行う設定作業」、「加湿器本体内コントロールユニットディップスイッチで行う設定作業」、「加湿器本体内ヒューミディスタットユニットディップスイッチで行う設定作業」があります。それぞれの位置詳細は以下のとおりです。

図 -1 リモコンスイッチ詳細



ヒューミ付リモコンを例に説明しています。
標準リモコンスイッチには図中※の「サイドスイッチ」、「湿度検知部」はありません。

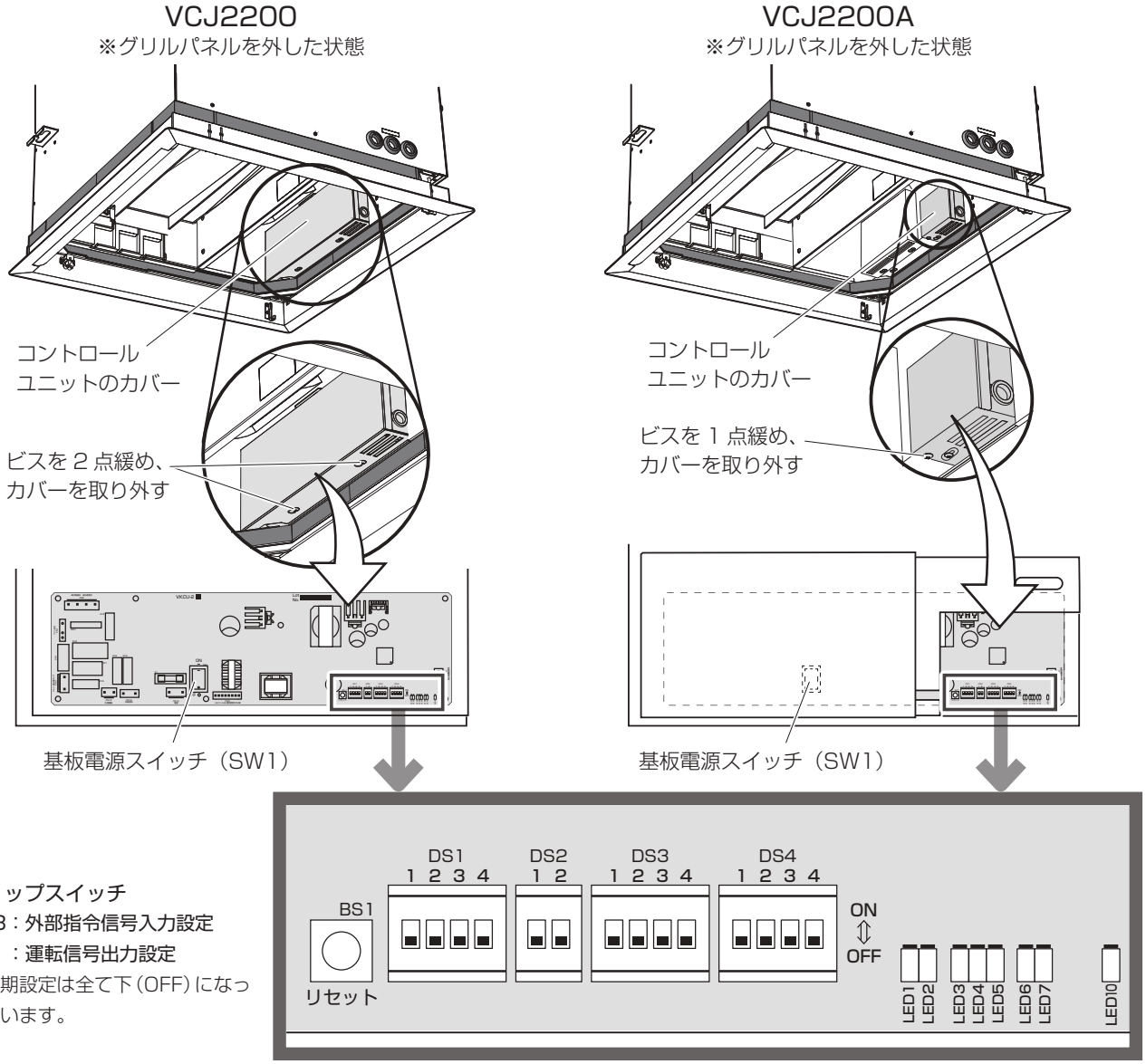
図 -2 VCJ2200A ヒューミディスタットユニット詳細



ディップスイッチ
S1　1 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　2 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　3 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　4 番ピン：連動運転入力
　　5 番ピン：必ず OFF
　　6 番ピン：必ず OFF

LED 番号（色）	LED 点灯表示内容
PWR（緑）	VCJ2200A に内蔵されたヒューミディスタットに電源が供給されている時に点灯
HS（赤）	ヒューミディスタットが ON の時に点灯
LED1（赤）	ヒューミディスタット制御センサで異常が発生し、 ヒューミディスタット出力が停止している時に点滅（0.25 秒サイクル）、または点灯
LED2（緑）	ヒューミディスタット制御センサ以外で異常が発生している時に点滅（0.25 秒サイクル）
LED3（緑）	起動処理中に点灯（電源 ON から初回の測定開始までの 1 秒間）、起動完了後に点滅（1 秒間サイクル）

図 -3 コントロールユニット外観略図と LED 表示内容



ディップスイッチ
DS3：外部指令信号入力設定
　　：運転信号出力設定
※初期設定は全て下（OFF）になっています。

LED 番号（色）	LED 点灯表示内容
LED1（緑）	リモコン通信時にゆっくり点滅（0.5 秒サイクル）、通信不通時は早い点滅（0.1 秒サイクル）
LED2（黄）	給水ユニット作動回数に応じて点滅 / 点灯（50 万回以上作動時＝ 0.5 秒サイクルの点滅、95 万回以上作動時＝ 0.1 秒サイクルの点滅、100 万回作動時＝点灯）
LED3（赤）	ドレンパン高水位検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED4（緑）	漏水検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED5（黄）	給水電磁弁リーク検知時またはドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED6（赤）	予備
LED7（緑）	ドレン排水用ポンプ排水異常検知時に点灯〔点灯解除の方法はリセットスイッチ（BS1）を押す〕
LED10（緑）	ドレン排水用ポンプ運転時に点灯

2 リモコンスイッチ初期設定

2-1 アドレス設定方法

リモコンスイッチと加湿器本体を結線した後、加湿器の運転前にはアドレス設定が必要です。アドレス設定を行わないと加湿器を運転することができません。

【動画】
アドレス設定

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

●以下の点を確認してアドレス設定を行ってください。

□リモコンスイッチと加湿器本体間の配線接続（C1、C2）が終了している。
□1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、各加湿器本体間の渡りの配線接続（C1、C2）が終了している。
□1つのリモコンスイッチで複数の加湿器本体を制御する場合、加湿器本体は 10 台以下であること。

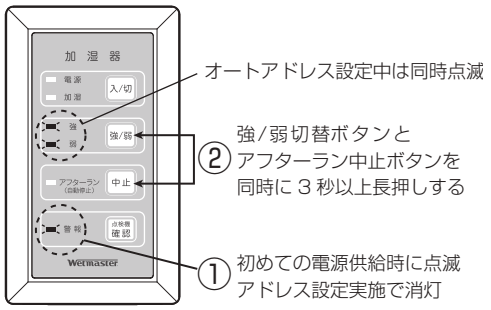
① 1 つのリモコンスイッチに接続している**すべての加湿器に電源を供給する（加湿器元電源の漏電ブレーカをＯＮ）。**

●電源供給の際、全ての表示灯が点滅（約 5 秒間）します。その後、警報表示灯が点滅し続けますが、アドレス設定を行うと消灯します。（図 -4 ①）

②リモコンスイッチ上の強 / 弱切替ボタンとアフターラン中止ボタンを同時に３秒以上長押しする（図 -4 ②）。

●以上の操作を行うとアドレス設定が自動で開始され、リモコンスイッチ上の強表示灯・弱表示灯が 0.5 秒間隔で同時に点滅し、約 1 分後に消灯します。その後、加湿表示灯が加湿器本体接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、3 回繰り返した後消灯し、アドレス設定は終了となります（所要時間最大 2 分）。

図 -4 アドレス設定方法



※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

表 1 アドレス設定時のリモコンスイッチ表示

表示灯	電源ON時（約５秒間）	アドレス設定			
		設定前	設定中	設定終了時	終了後
電　源	☼	—	—	—	—
加　湿	☼	—	—	☼ ※	—
強	☼	—	☼	—	—
弱	☼	—	☼	—	—
アフターラン	☼	—	—	—	—
警　報	☼	☼	—	—	—

☼ は点滅を示します

※アドレス設定終了時は接続台数分の点滅を３回繰り返します。
（例）加湿器４台接続の場合
加湿表示灯点滅 4 回を３回繰り返す

●オートアドレス設定中は、リモコンスイッチ上の何れのボタンを押しても反応しません。

● 1 台もアドレス設定ができなかった場合は、警報表示灯が点滅します。

●加湿表示灯が接続台数分の回数を点滅しなかった場合や警報表示灯が点滅した場合、正しくアドレス設定ができていません。P.4 図 -3 を参照し、コントロールユニットの LED1（緑）が「点滅していない」、または「早い点滅（0.1 秒サイクル）」となっていないかを確認してください。「点滅していない」場合には電源を確認してください。「早い点滅（0.1 秒サイクル）」の場合にはリモコンスイッチ配線および本体間の渡りの信号配線（C1, C2）を確認し、再度アドレス設定を行ってください（再設定を行う場合、上記②からの操作となります）。

2-2 加湿器本体接続台数の確認方法

●下記方法でアドレス設定終了時にリモコンスイッチ 1 台に加湿器本体が何台接続されているかを確認できます。

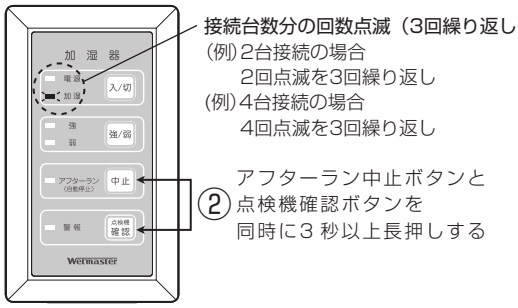
①リモコンスイッチの表示灯が全て消灯していることを確認する。

②リモコンスイッチ上のアフターラン中止ボタンと点検機確認ボタンを同時に３秒以上長押しする（図 -5 ②）。

以上で接続台数確認を開始し、確認終了後自動的に終了します。

●接続台数の表示は表 1 のアドレス設定終了時と同じです。
加湿表示灯が加湿器本体の接続台数分の回数を 0.5 秒間隔で点滅し、３回繰り返した後に消灯します。

図 -5 接続台数確認方法



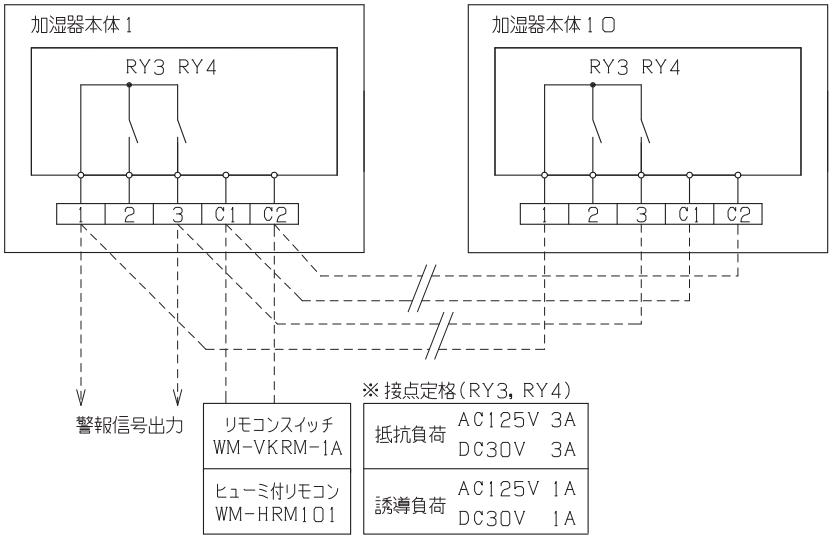
※イラストは標準リモコンスイッチで表していますが、ヒューミ付リモコンの場合も同様です。

3 外部信号出力設定

3-1 警報信号出力（外部信号出力）を使用する場合

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、警報信号は各加湿器の端子 1, 3 から個別に出力されます。
- 警報信号は安全保護機能が作動した時に出力されます。



警報信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

安全保護機能

1）ドレンパン高水位検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
2）漏水検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
3）給水電磁弁リーク検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）
4）ドレン排水用ポンプ排水異常検知
（運転停止 / 警報表示灯点灯）

3-2 運転信号出力（外部信号出力）を使用する場合

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

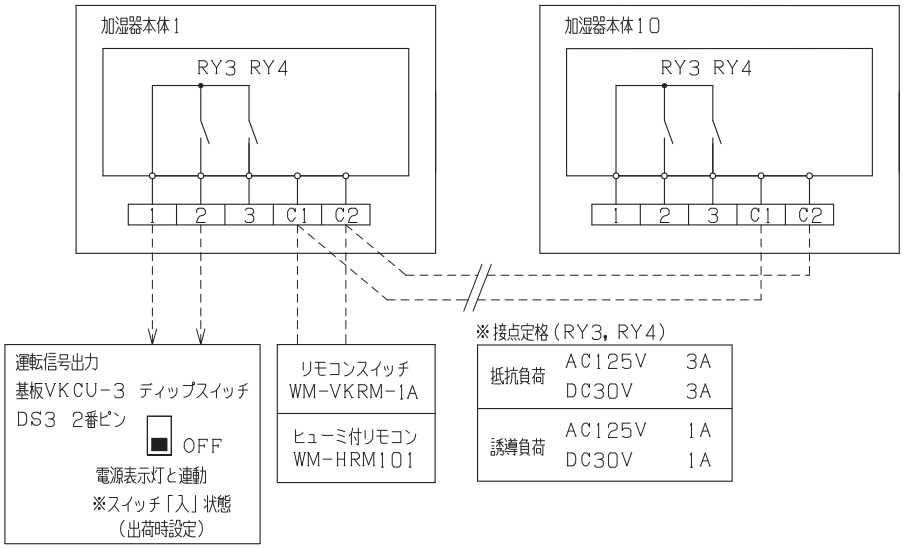
通電したままの作業は感電の原因になります。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合、運転信号は各加湿器の端子 1，2 から個別に出力されます。
- 運転信号はリモコンスイッチの電源表示灯（運転ボタン「入」の状態）と連動して出力されます（初期設定）。加湿表示灯（運転ボタン「入」かつヒューミ「ON」の状態）と連動させる場合は、加湿器本体コントロールユニット（P.4 図 -3 参照）のディップスイッチ（DS3 2 番ピン）を切り替えてください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源供給を停止してから行ってください。**通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。**

運転信号の出力 / リモコンの「電源表示灯」と連動させる場合（初期設定）

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」で運転信号を出力します

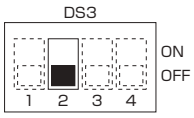


運転信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

ディップスイッチ設定

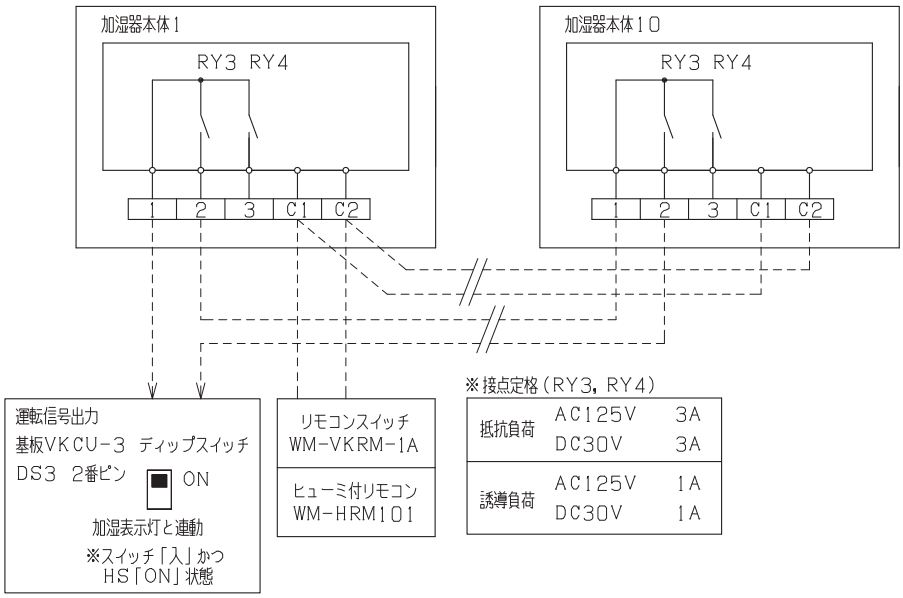


備　考

スイッチ切り忘れ防止の遠方監視を行う場合に使用します。

運転信号の出力 / リモコンの「加湿表示灯」と連動させる場合

運転ボタン「入」、または外部指令信号入力「ON」かつヒューミディスタット入力「ON」で運転信号を出力します

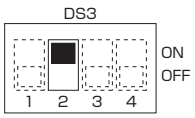


運転信号出力

・無電圧接点出力（a 接点）

抵抗負荷	AC125V 3A DC30V 3A
誘導負荷	AC125V 1A DC30V 1A

ディップスイッチ設定



備　考

実際に加湿運転しているかどうかの状態監視を行う場合に使用します。

4 外部機器との連動運転設定

4-1 加湿器とリモコンスイッチの組み合わせと連動運転設定

当項目は、VCJ2200・標準リモコンスイッチの組み合わせには該当しません

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- 外部機器との連動運転の設定方法は、加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせにより設定方法が異なります。
  特に VCJ2200A とヒューミ付リモコンの組み合わせにおいて、**「ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転を行う設定」はできません。**
- 表 4 は加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業の有無を示したものです。

表 3 加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせによる外部機器連動の設定作業

加湿器本体とリモコンスイッチの組み合わせ			連動運転設定可否	外部機器との連動運転設定の概要	参照項
加湿器本体	リモコンスイッチ	湿度検知			
VCJ2200	標準リモコンスイッチ	なし	×	この組み合わせでは外部機器との連動運転を行う設定はできません。	–
VCJ2200	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	○	ヒューミ付リモコンの外部機器連動の設定が必要	P.9 4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合
VCJ2200A	標準リモコンスイッチ	加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	P.10 4-3 加湿器本体内蔵のヒューミディスタットで連動運転を行う場合
VCJ2200A	ヒューミ付リモコン	加湿器本体	○	加湿器本体内ディップスイッチの設定が必要	
VCJ2200A	ヒューミ付リモコン	ヒューミ付リモコン	×	ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合、外部機器との連動運転を行う設定はできません	–

4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合

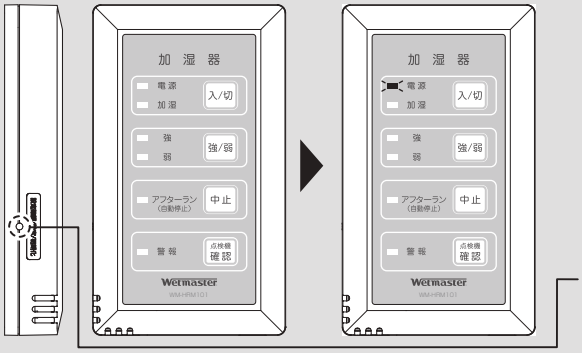
加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

当設定の対象組み合わせ	・VCJ2200 とヒューミ付リモコン

●以下の①ヒューミ付リモコン設定と、②配線接続を行ってください。

①ヒューミ付リモコン設定

1



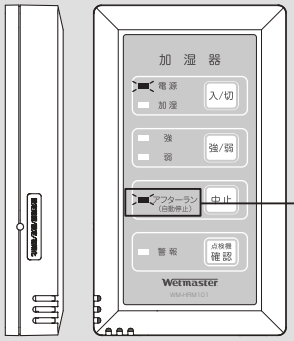
1 -1 外部機器の接点を OFF にします。

1 -2 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -3 電源表示灯（緑）が点灯します。

サイドスイッチ
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2



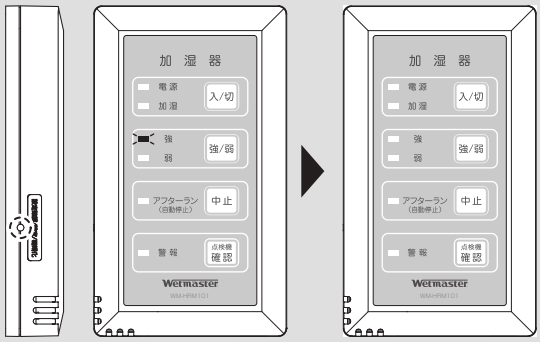
例）加湿器と外部機器を連動運転する

2 加湿器と外部機器を連動する場合は下記表を参照し、アフターラン表示灯 を点灯させてください。アフターラン表示灯の点灯 / 消灯は、アフターラン中止ボタンを押すことで切り替えができます。

外部機器と連動運転する場合	アフターラン表示灯を **点灯**に切り替える
外部機器と連動運転しない場合（初期設定）	アフターラン表示灯を **消灯**に切り替える

※アフターラン表示灯に加え、弱表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」で確認できます。

②配線接続

● 外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1, L2（無電圧接点入力）に接続してください。

※無電圧接点には、最小適用負荷 10mA 以下の接点をご使用ください。
また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないでください。

※外部機器が OFF の時にリモコンスイッチの操作と、外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転を制限することができます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が３秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

配線接続

通電電圧	電流
DC12V	10mA

（無電圧接点入力）

運転時に ON、停止時にOFF となる接点信号を入力してください。

4-3 加湿器本体内蔵のヒューミディスタットで連動運転を行う場合

当設定の対象組み合わせ	・VCJ2200A と標準リモコンスイッチ またはヒューミ付リモコン

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

警告

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

❗ 通電したままの作業は感電の原因になります。

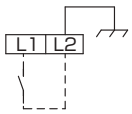
●以下の①配線接続と②ディップスイッチ設定を行ってください。なお、「VCJ2200A とヒューミ付リモコン」の組み合わせでご使用の場合は先に、P.17「a 使用するヒューミディスタットの選択」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット」へ設定してから、下記①～②の作業を行ってください。

①配線接続

外部機器の運転出力は加湿器本体の端子台 L1, L2（無電圧接点入力）に接続してください。

※無電圧接点には、最小適用負荷 10mA 以下の接点をご使用ください。また、接点検出用電圧を印加していますので別電源から電圧を印加しないで下さい。

配線接続



通電電圧	電流
DC12V	10mA

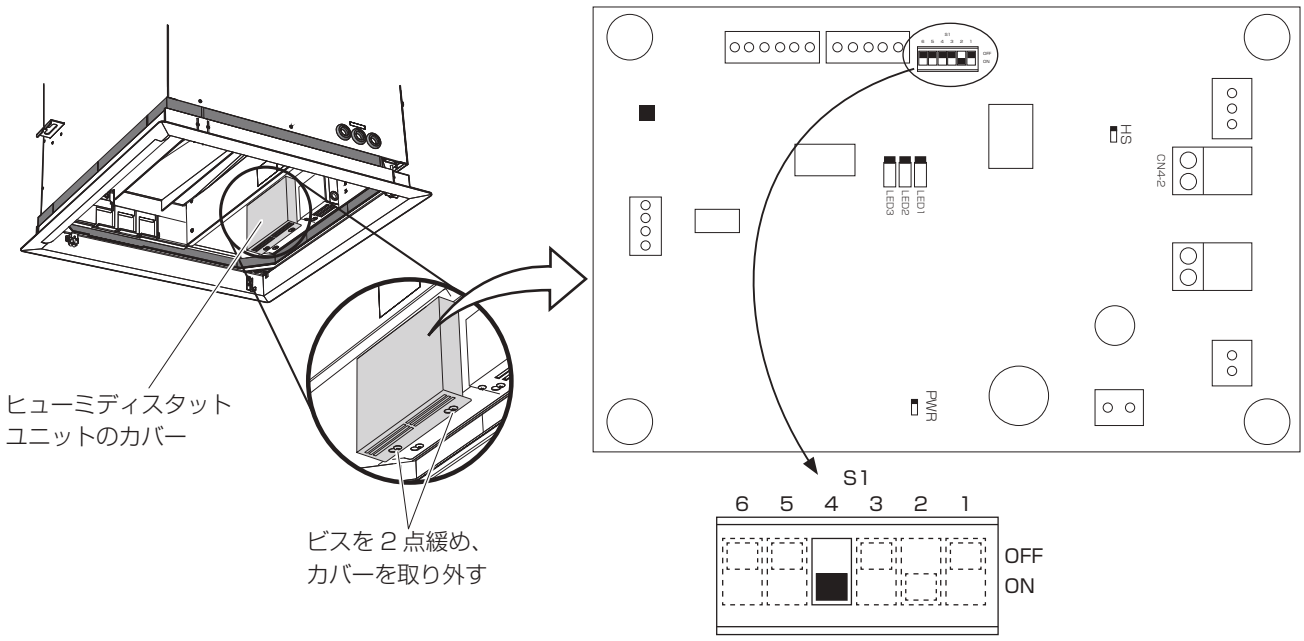
（無電圧接点入力）

運転時に ON、停止時にOFF となる接点信号を入力してください。

②ディップスイッチ設定

ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ（S1 4 番ピン）を ON にしてください（図 -6 参照）。

図 -6 加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタットにより連動運転を行う場合



※初期設定は OFF になっています

5 外部指令信号入力による遠方発停を行う場合の設定

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

通電したままの作業は感電の原因になります。

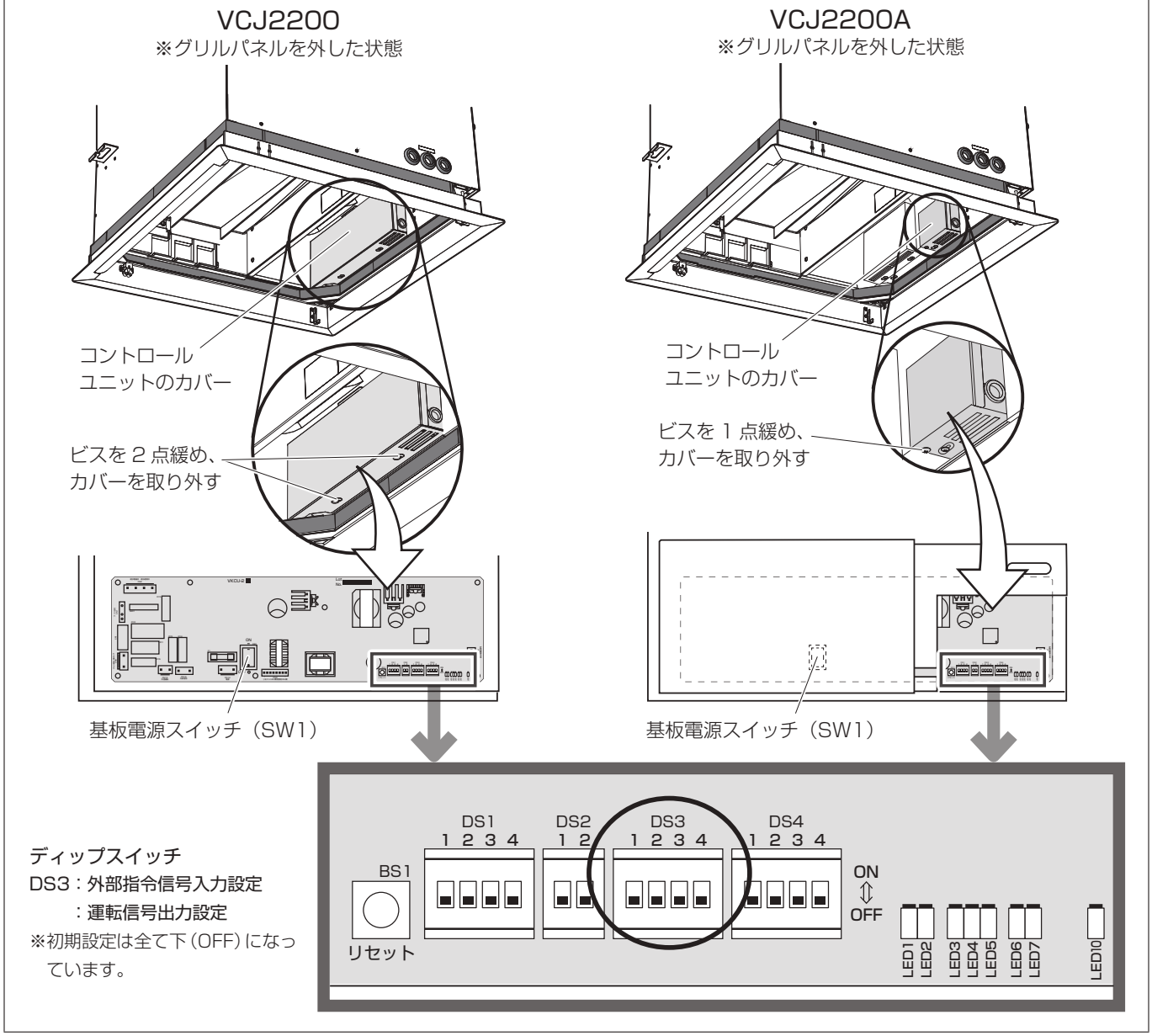
加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）が可能です（この場合においてもリモコンスイッチの取付が必要となります）。
- 1 つのリモコンスイッチで複数台制御する場合でも、端子 4, 5（4, 5, 6）への接続は「加湿器本体 1」のみで全数の運転制御ができます。グループを一括制御する場合は別冊の施工要領書の各結線参考図、要領図を参照し、結線してください。
- 外部指令信号入力は「常時入力信号」と「瞬時入力信号」に対応しています。初期設定は常時入力信号の状態に設定されていますので、必要に応じて加湿器本体コントロールユニット（P.12 図 -7 参照）のディップスイッチ（DS3 1 番ピン）を切り替えてご使用ください。
- ディップスイッチ切替作業は、必ず加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にし、電源を遮断してから行ってください。通電したままディップスイッチ切替作業を行うと、設定変更が正しく反映されません。
- 外部指令制御を使用する場合、任意の発停は「リモコンスイッチ操作による発停」と「外部指令信号入力による発停」により行われ、「後押し優先」となります。
- 瞬時入力信号を使用する場合、表３の配線接続を参照して現場配線数に合わせて接続してください。

表３ 外部指令信号入力による遠方発停（外部指令制御）を使用する場合のディップスイッチ設定

信号の種類と配線接続			ディップスイッチ設定	備　考
常時入力信号（初期設定）	4 5 6	通電電圧・電流 DC12V・10mA	DS3 ON OFF 1 2 3 4	運転時に ON、停止時に OFF となる接点信号を入力してください。
瞬時入力信号	4 5 6 COM ON OFF	通電電圧・電流 DC12V・10mA	DS3 ON OFF 1 2 3 4	瞬時入力信号は、100msec（0.1 秒）以上の a 接点の信号を入力してください。

図 -7 コントロールユニット上のディップスイッチ DS3 の位置



ディップスイッチ
DS3：外部指令信号入力設定
　　：運転信号出力設定
※初期設定は全て下（OFF）になっています。

6 運転動作

6-1 リモコンスイッチによる運転動作

表 4 リモコンスイッチの表示　　（点灯：○、消灯：－ を示します）

運転状態		A		B		C		D	E
		加湿運転		加湿運転（ヒューミ：ON）		待機状態（ヒューミ：OFF）		アフターラン	運転停止
ヒューミディスタット		無		有				有無共通	
ファン強弱		強	弱	強	弱	強	弱	強弱共通	強弱共通
表示灯	⑤ 電源	○	○	○	○	○	○	－	－
	⑥ 加湿	○	○	○	○	－	－	－	－
	⑦ 強	○	－	○	－	○	－	－	－
	⑧ 弱	－	○	－	○	－	○	－	－
	⑨ アフターラン	－	－	－	－	－	－	○	－
	⑩ 警報	－	－	－	－	－	－	－	－

A：ヒューミディスタット無の場合は、加湿運転 A のみとなります。

B：ヒューミディスタット有の場合でヒューミディスタット接点が ON であれば加湿運転 B になります。

C：加湿運転中 B にヒューミディスタットが OFF になると、待機状態 C になります。ヒューミディスタットが ON になれば加湿運転 B を再開します。

D：加湿運転中 A B、または待機状態中 C に運転ボタンを押すと、運転終了のためのアフターラン D に入ります。

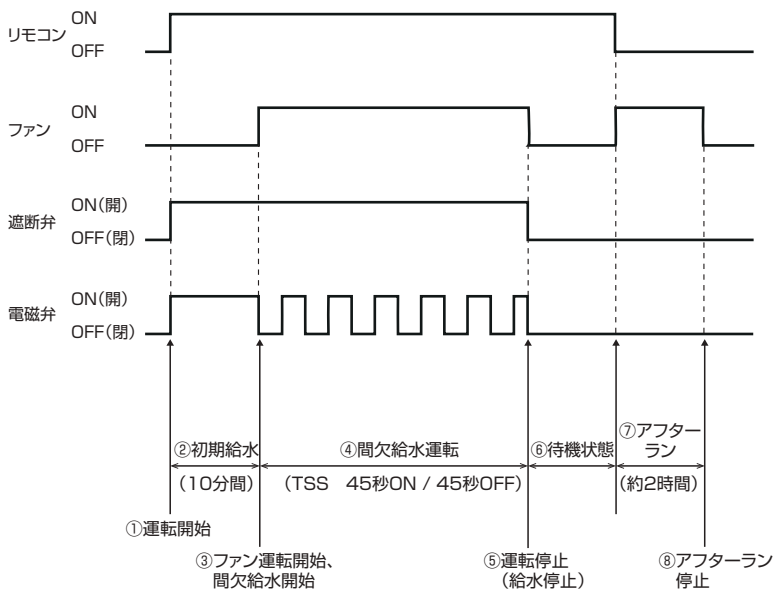
E：運転終了のためのアフターラン D が完了すると、自動的に運転停止 E の状態に戻ります。

※リモコンスイッチの運転ボタン OFF 後、または外部指令信号入力による運転 OFF 後の再運転時のファン強弱について
運転停止前の状態が「強」であれば「強」で運転し、運転停止前の状態が「弱」であれば「弱」で運転を開始します。

6-2 基本的な運転動作

- 運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタット ON 時など、加湿器の運転開始時はファンを停止した状態で連続給水を行って加湿モジュールを湿潤させ、給水による臭い成分などの洗い流しを行います（初期給水 10 分間）。
- 初期給水後、間欠給水（TSS：Time Sharing System）となり、ファンが運転し加湿を行います。
- 運転ボタンまたは外部指令信号入力 OFF 時などの運転停止時には給水を停止した状態でファンのみを運転させ、加湿モジュールを乾燥させた後、自動停止します（アフターラン機能による加湿モジュール乾燥、約 2 時間）。

図 -8 運転動作タイミングチャート



基本運転動作

①運転ボタンまたは外部指令信号入力、およびヒューミディスタット ON による運転開始

②初期給水開始（連続給水、ファン OFF）

③ファン運転開始、間欠給水開始

④間欠給水運転（ドレン排水用ポンプはドレンパン内の水位に応じて自動発停します）

⑤ヒューミディスタット OFF による運転停止

⑥待機状態（給水停止）

⑦運転ボタンまたは外部指令信号入力によるアフターラン（約 2 時間）

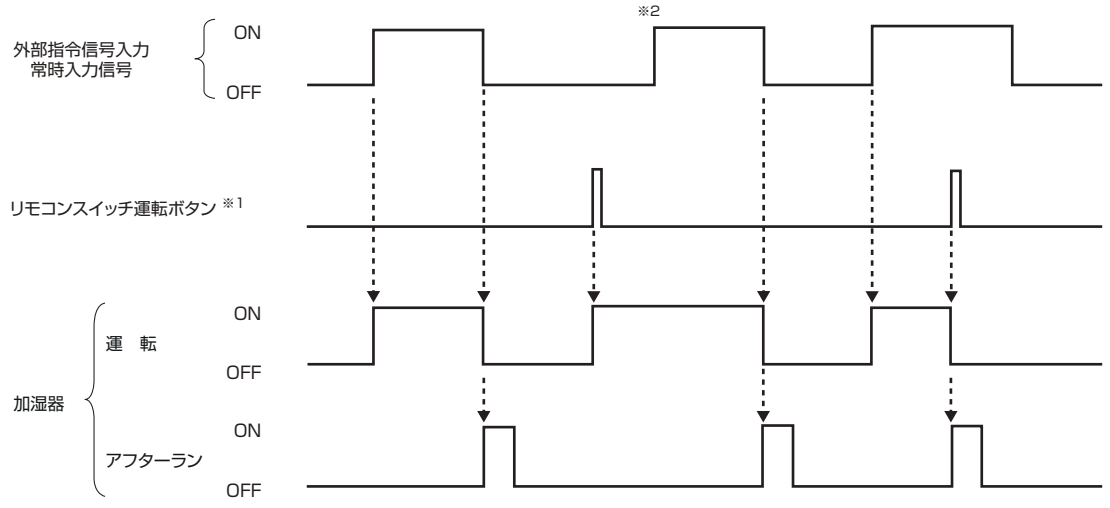
⑧アフターラン終了（ファン停止）

※待機中、再度ヒューミディスタット ON により運転を再開した場合、初期給水の動作に戻ります。

6-3 リモコンスイッチ、外部指令信号入力の後押し優先機能

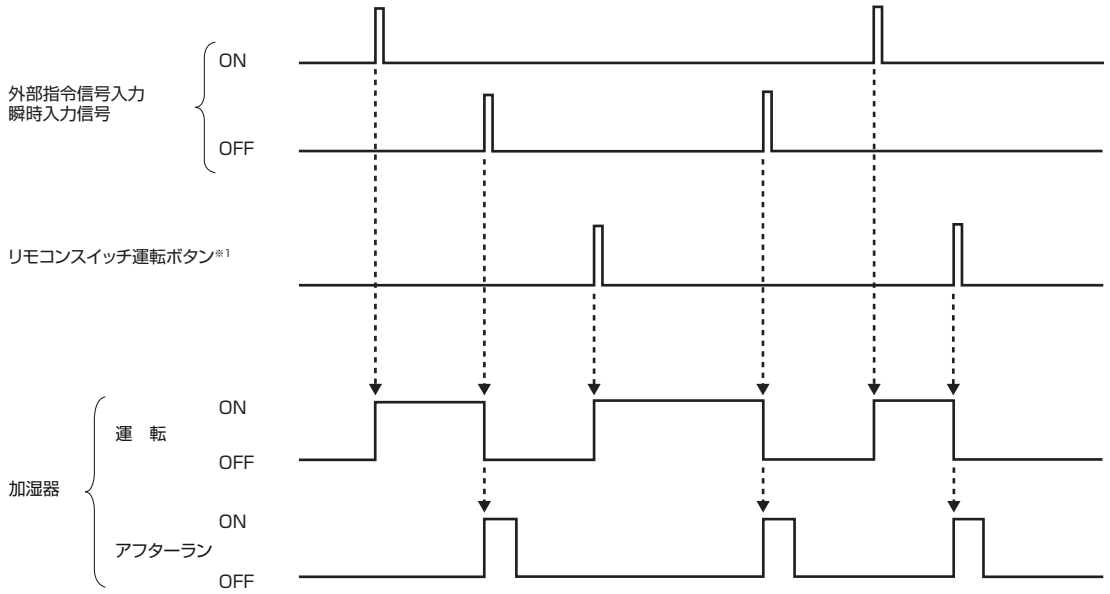
- リモコンスイッチでの発停の他に外部指令信号入力による発停を併用する場合、後押し優先で動作します。
- 外部指令信号入力の種類は常時入力と瞬時入力に対応しています。初期設定は常時入力信号となっています。
  瞬時入力信号とする場合は、P.4 を参照してディップスイッチの設定を変更してください。

図 -9 常時入力信号動作タイミングチャート（ヒューミディスタット ON 時）



※ 1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。
※ 2：後押し優先動作のため、外部指令信号入力で強制停止させる場合は接点 ON → OFF 入力が必要になります。また、強制運転させる場合は接点 OFF → ON 入力が必要になります。

図 -10 瞬時入力信号動作タイミングチャート（ヒューミディスタット ON 時）



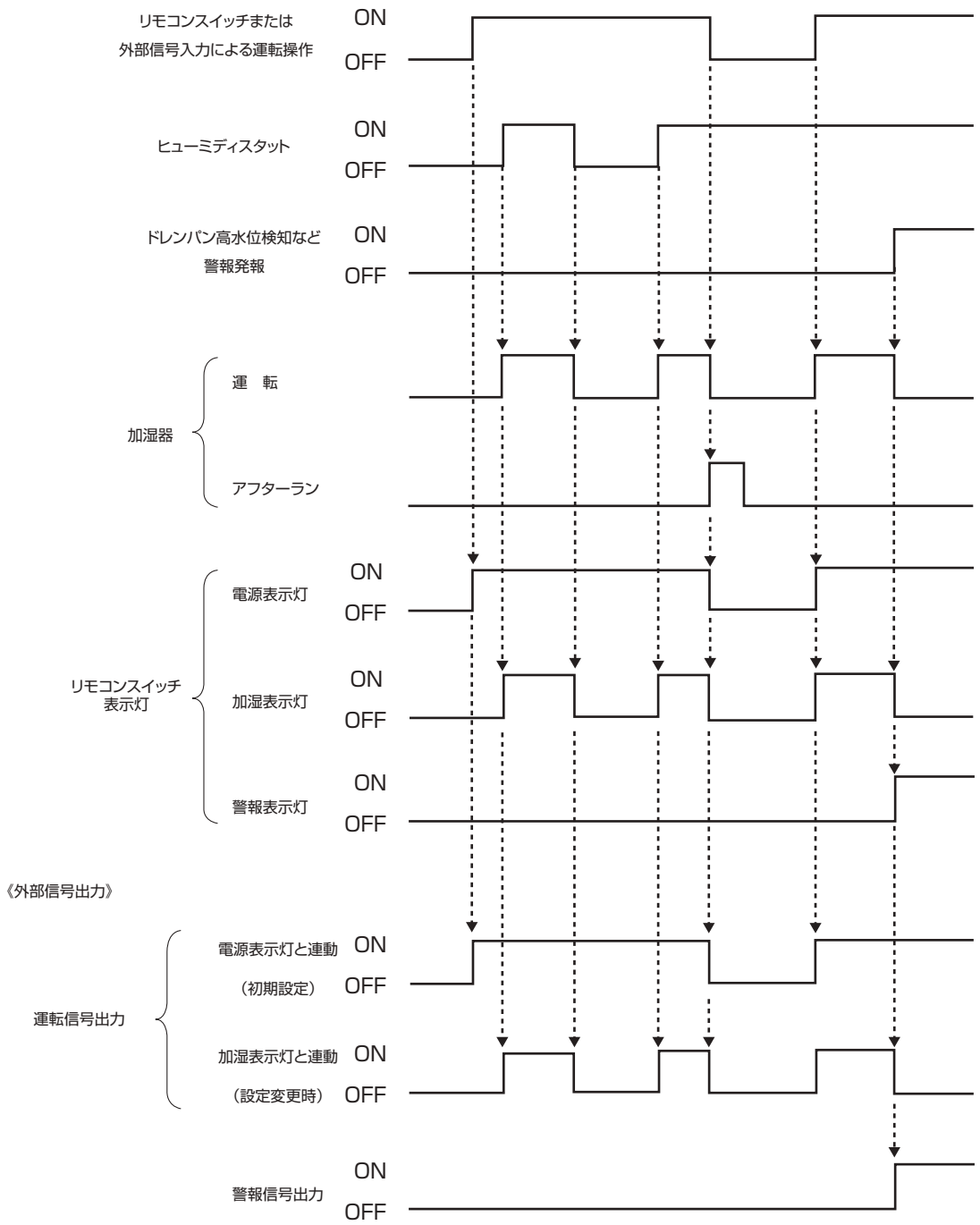
※ 1：リモコンスイッチの運転ボタンは、停止中に押すと運転し、運転中に押すと停止します。

6-4 運転動作と外部信号出力（運転信号、警報信号）

- 運転信号はリモコンスイッチまたは外部指令信号入力による運転操作状態であることを示す電源表示灯との連動、またはヒューミディスタット ON で加湿器が運転していることを示す加湿表示灯との連動のどちらかを選択できます。
- **初期設定では、電源表示灯と連動して出力するように設定されています。**
  加湿表示灯と連動させる場合には P.7 を参照してディップスイッチの設定を変更してください。
- 警報信号はドレンパン高水位検知や漏水検知など安全保護機能作動時に出力されます。警報発報時には**警報を発報した加湿器の運転を停止**し、リモコンスイッチの警報表示灯が点灯します。
  警報は自己保持されているので復旧するには警報の原因を解消した後に、加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にしてください。

※電源 OFF で自己保持が解除されます。リモコンスイッチの運転ボタンによる入／切では解除されません。

図 -11 運転信号出力タイミングチャート



7 ヒューミ付リモコンによる各種設定

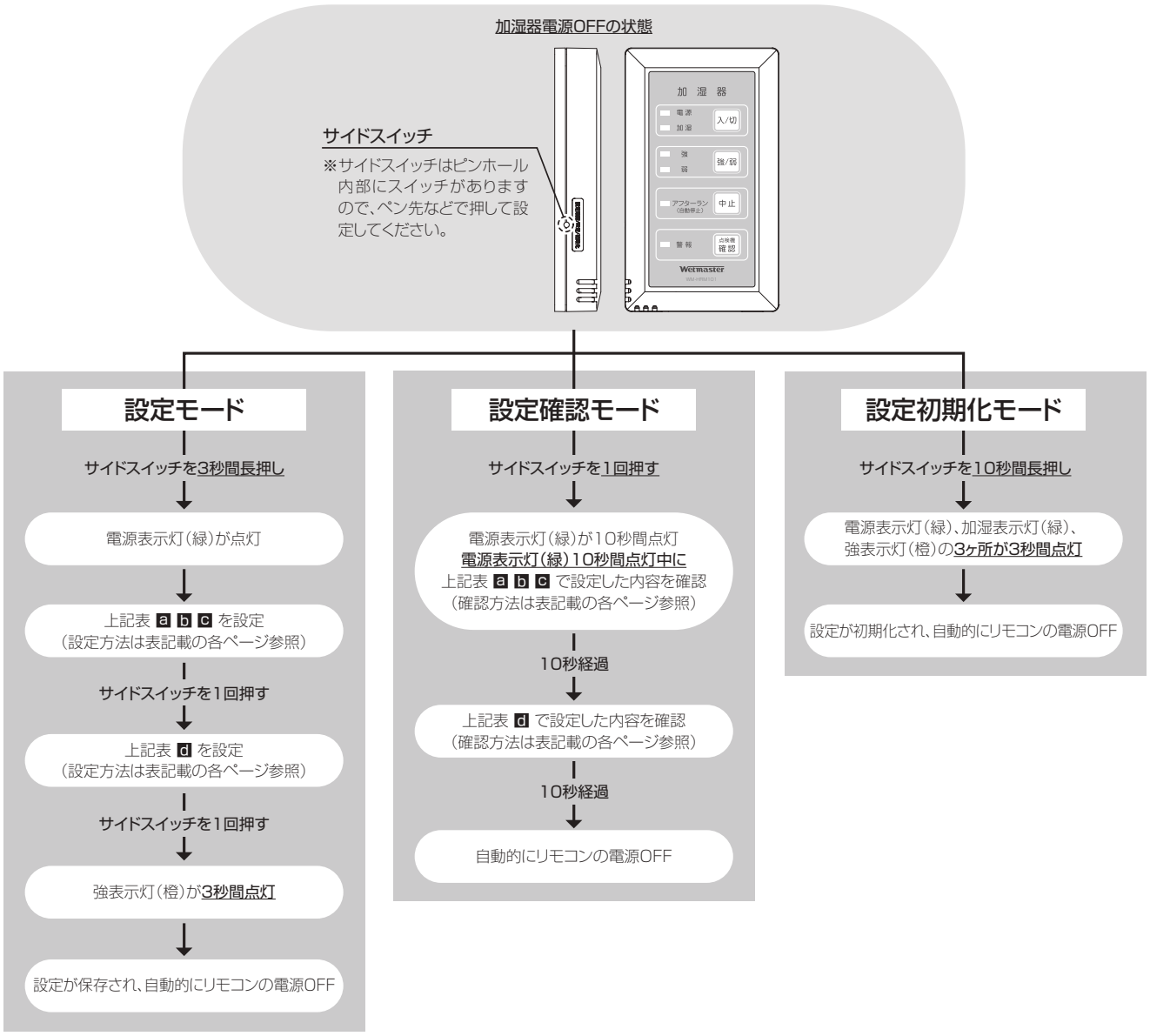
7-1 各モードについて

●ヒューミ付リモコンでは表９のように３つのモードがあり、各モードによって操作方法が異なります。
下記表から各項目のページを参照し、設定・確認を行ってください。

表５　各モードの概要

モード	概要	設定方法詳細
設定モード	a 使用するヒューミディスタットの選択	P.17
	b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定	P.18
	c 湿度検知の感度変更	P.19
	d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	P.20
設定確認モード	設定モード a で設定した内容を確認	P.21 ～ 22
	設定モード b で設定した内容を確認	
	設定モード c で設定した内容を確認	
	設定モード d で設定した内容を確認	
設定初期化モード	一括で設定内容を初期化（初期設定の内容へ戻す）	P.23

各モードにおける設定の流れ



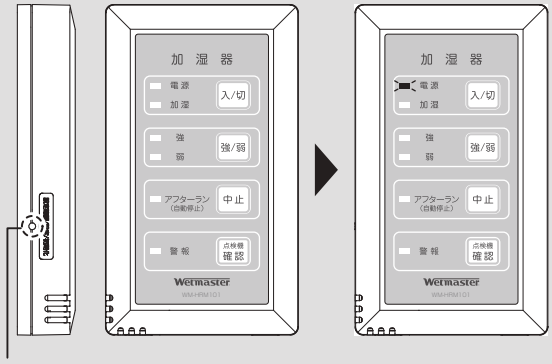
7-2 設定モード

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

a 使用するヒューミディスタットの選択

●ヒューミ付リモコンの初期設定は、リモコンのヒューミを使用して湿度検知する設定になっています。加湿器本体（VCJ2200A）に内蔵されたヒューミ、または客先ご用意のヒューミで湿度検知する場合に設定変更が必要となります。

1



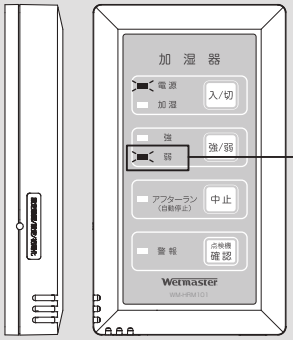
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



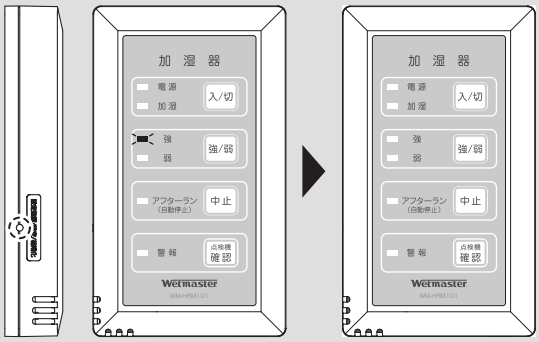
例）加湿器本体側で湿度検知する

2 下記表を参照し、使用するヒューミに応じて 弱表示灯 を点灯または消灯させてください。弱表示灯の点灯 / 消灯は、強 / 弱切替ボタンを押すことで切り替えができます。

加湿器本体に内蔵されたヒューミ または客先ご用意のヒューミで湿度検知する場合	弱表示灯を **点灯** に切り替える
リモコンスイッチに内蔵された ヒューミで湿度検知する場合（初期設定）	弱表示灯を **消灯** に切り替える

※弱表示灯に加え、アフターラン表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

※設定した内容を改めて確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」で確認できます。

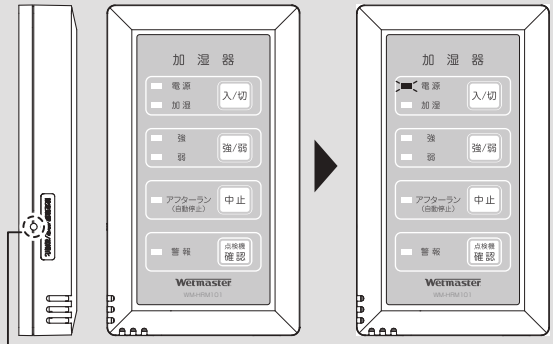
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器との連動運転設定

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- **VCJ2200 とヒューミ付リモコンの組み合わせで使用する場合のみに該当する設定です。**
- **上記組み合わせでリモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合**、加湿器本体の端子（L1, L2）を空調機などの外部機器との連動運転端子として使用することができます。初期設定は「外部機器と連動運転しない」設定となっているため、外部機器と連動運転をする場合に設定変更が必要となります。
- 配線接続については P.9「4-2 ヒューミ付リモコンで連動運転を行う場合」をご参照ください。

※外部機器が OFF の時にリモコンの操作と外部指令入力による運転が無効となり、加湿器単独の運転が制限されます。この状態で運転ボタンを押した場合、電源表示灯と加湿表示灯が３秒間交互に点灯します。ただし外部指令入力による運転指示の場合には表示灯は交互点灯しません。

1



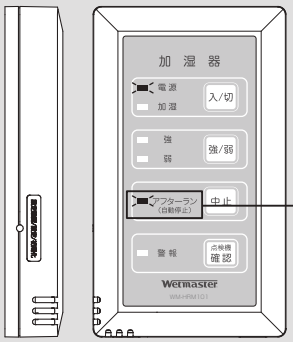
サイドスイッチ
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1 -1 外部機器の接点を OFF にします。

1 -2 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを３秒間長押しします。

1 -3 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



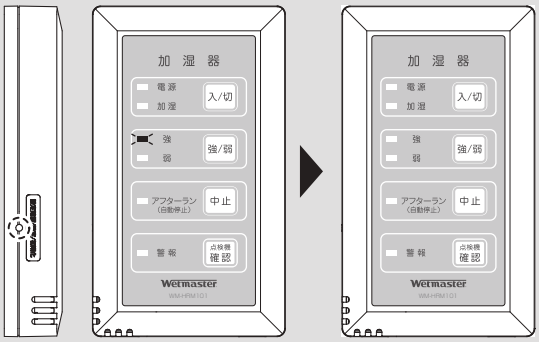
例）加湿器と外部機器を連動運転する

2 加湿器と外部機器を連動する場合は下記表を参照し、アフターラン表示灯 を点灯させてください。アフターラン表示灯の点灯 / 消灯は、アフターラン中止ボタンを押すことで切り替えができます。

外部機器と連動運転する場合	アフターラン表示灯を **点灯**に切り替える
外部機器と連動運転しない場合（初期設定）	アフターラン表示灯を **消灯**に切り替える

※アフターラン表示灯に加え、弱表示灯や警報表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを２回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が３秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

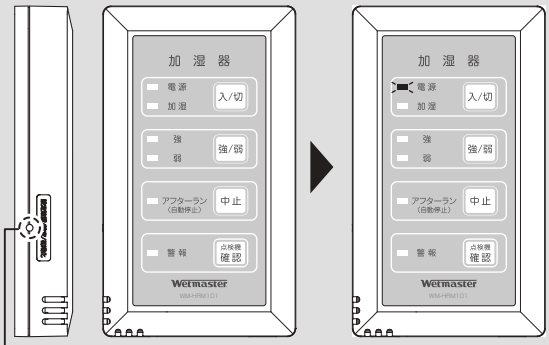
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」で確認できます。

C 湿度検知の感度変更

- ヒューミディスタットの湿度検知の感度を「高」・「低」の 2 種類から選択することができます。初期設定は「高」で、通常は設定変更なしでご使用いただけます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

1



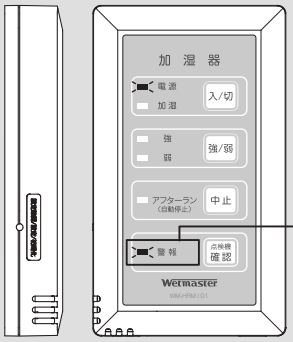
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯（緑）が点灯します。

2



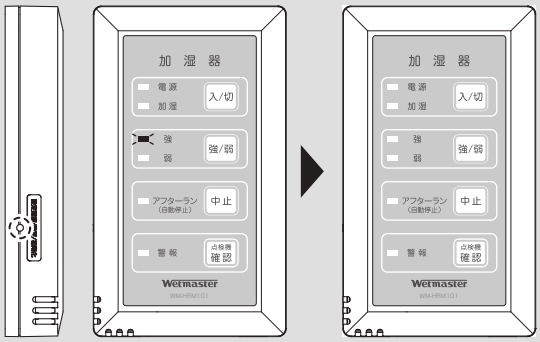
例）感度を「低」へ、変更する

2 湿度検知の感度を変更する場合は下記表を参照し、警報表示灯 を点灯または消灯させてください。警報表示灯の点灯 / 消灯は、点灯機確認ボタンを押すことで切り替えができます。

湿度検知の感度「低」	警報表示灯を **点灯**に切り替える
湿度検知の感度「高」（初期設定）	警報表示灯を **消灯**に切り替える

※警報表示灯に加え、アフターラン表示灯や弱表示灯が点灯する場合は、初期設定から何らかの設定変更がされています。現状の各設定内容を確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」を参照してください。

3



3 -1 サイドスイッチを 2 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

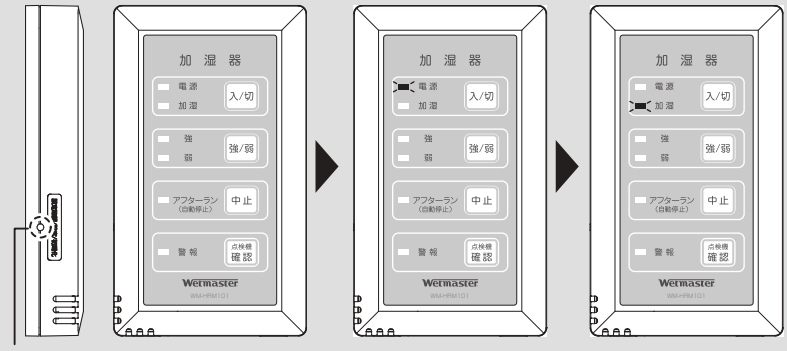
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」で確認できます。

d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の湿度設定の変更

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

- 35%RH ～ 70%RH の範囲で 5%単位で設定が可能です。
  また、初期設定は 40%RH です。
  湿度設定を変更する場合は、以下の手順で行ってください。

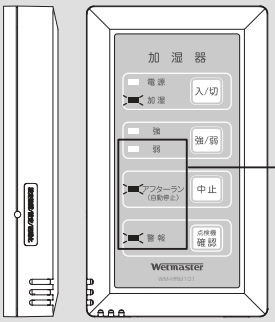
1



1 -1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 3 秒間長押しします。
1 -2 電源表示灯（緑）が点灯します。
1 -3 サイドスイッチを 1 回押します。
1 -4 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が点灯する。

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

2

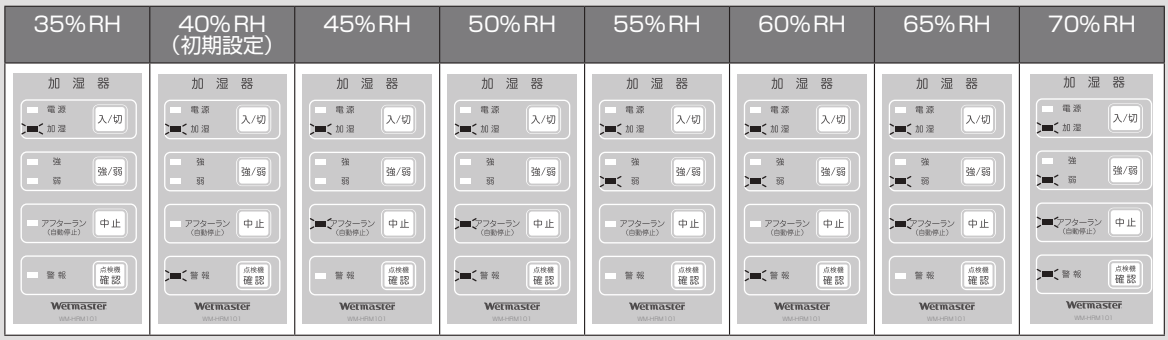


例）設定湿度 50%RH

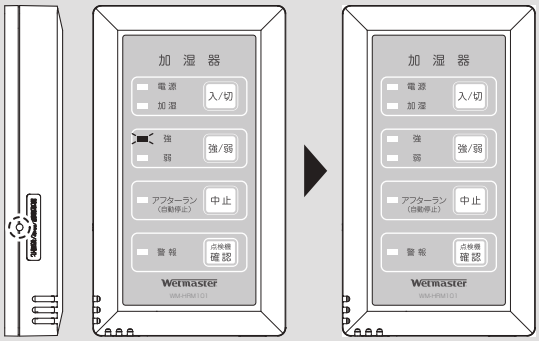
2 湿度設定は、
弱表示灯・アフターラン表示灯・警報表示灯 の点灯 / 消灯の組み合わせによって設定します。
以下の組み合わせ一覧から希望設定湿度の点灯パターンを参照し、希望湿度を設定してください。各表示灯の点灯 / 消灯は、下記の各ボタンを押すことで切り替えができます。
・弱表示灯⇒強 / 弱切替ボタン
・アフターラン表示灯⇒アフターラン中止ボタン
・警報表示灯⇒点検機確認ボタン

【▬: 点灯、▭：消灯を示します】

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧



3



3 -1 サイドスイッチを 1 回押します。

3 -2 強表示灯（橙）が 3 秒間点灯します。

3 -3 電源が OFF となり、設定保存が完了します。

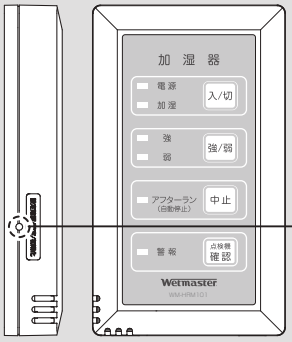
※設定した内容を改めて確認する場合は、P.21「7-3 設定確認モード」で確認できます。

7-3 設定確認モード

● P.17 ～ 20 の設定モード a・b・c・d の現状の設定状態を確認できます。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

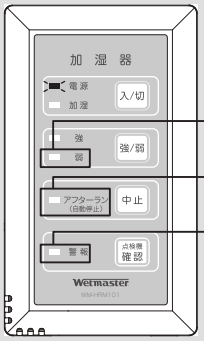
1



1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、
サイドスイッチを 1 回押します。

サイドスイッチ
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、
ペン先などで押して設定してください。

2



2 電源表示灯（緑）が 10 秒間点灯します。この 10 秒間の間に、
各表示灯の点灯または消灯から、

a 湿度検知するヒューミディスタットの確認

b 外部機器と連動運転を行うかどうかの確認

c 湿度検知の感度

以上 3 つの現状の設定状態を確認します。
下記表を参照し、各設定状態を確認してください。

a 湿度検知するヒューミディスタットの確認	
弱表示灯が点灯している場合	加湿器本体に内蔵されたヒューミディスタット または客先ご用意のヒューミディスタット
弱表示灯が消灯している場合	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミディスタット

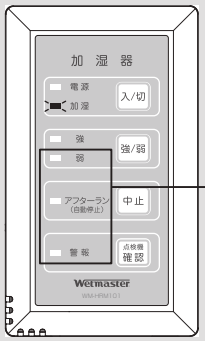
b 外部機器と連動運転をするかどうかの確認	
アフターラン表示灯が点灯している場合	外部機器と連動運転する
アフターラン表示灯が消灯している場合	外部機器と連動運転しない

c ヒューミディスタット感度の確認	
警報表示灯が点灯している場合	湿度検知の感度「低」
警報表示灯が消灯している場合	湿度検知の感度「高」

▼ 10 秒経過後（次ページへ続く）

10 秒経過後（前ページからの続き）

3



3 電源表示灯（緑）が消灯し、加湿表示灯（緑）が 10 秒間点灯します。この 10 秒間の間に、

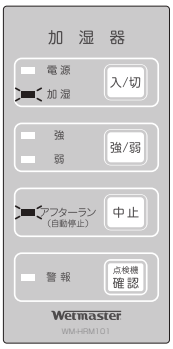
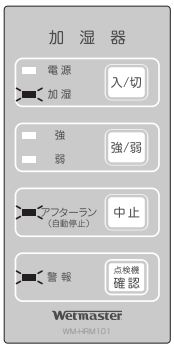
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度

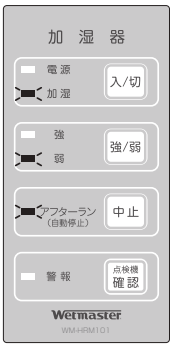
の現状の設定状態を確認します。設定湿度は、

弱表示灯・アフターラン表示灯・警報表示灯 の点灯 / 消灯の組み合わせによって確認できます。以下の組み合わせ一覧から現状の点灯パターンを参照し、設定湿度を確認してください。

設定湿度の表示灯組み合わせ一覧

【 ：点灯、 ：消灯を示します】

35%RH	40%RH（初期設定）	45%RH	50%RH
			

55%RH	60%RH	65%RH	70%RH
			

10 秒経過後

4

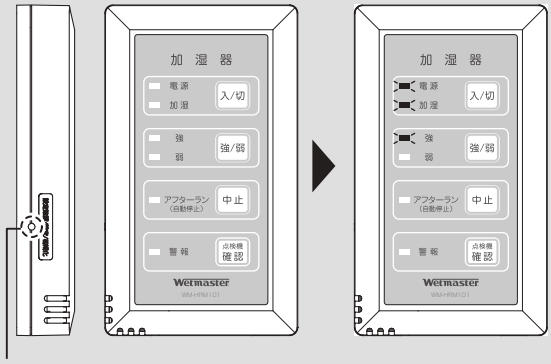
4 加湿表示灯が消灯し、電源が OFF の状態へ戻ります。

7-4 設定初期化モード

● ヒューミ付リモコンで設定した内容を一括で初期化（初期設定の内容へ戻る）します。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

1



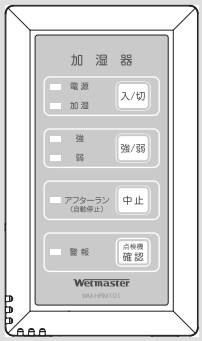
サイドスイッチ

※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

1 -1 電源表示灯が消灯している状態（加湿器電源 OFF）で、サイドスイッチを 10 秒間長押しします。

1 -2 電源表示灯（緑）、加湿表示灯（緑）、強表示灯（橙）が同時に 3 秒間点灯します。

2



2 電源が OFF の状態へ戻ります。以上で初期化は完了です。
各項目の初期設定は以下表をご参照ください。

a 使用するヒューミの選択	リモコンスイッチに内蔵されたヒューミ
b ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の外部機器と連動運転を行うための設定	連動運転しない
c 湿度検知の感度変更	高
d ヒューミ付リモコンで湿度検知する場合の設定湿度の変更	40% RH

8 VCJ2200A内蔵ヒューミディスタットの設定湿度変更

当項目は、VCJ2200A に内蔵されたヒューミディスタットで湿度検知する場合のみ必要な設定です。

加湿器本体	リモコン	湿度検知
VCJ2200	標準	なし
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		外部 HS
VCJ2200A	標準	VCJ2200A
		外部 HS
	HS付	HS 付リモコン
		VCJ2200A

警告

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

通電したままの作業は感電の原因になります。

- 湿度設定の初期設定は 40%RH です。変更する場合は、以下の手順で行ってください。

1. 加湿器本体のヒューミディスタットユニットカバーを取り外します（図 -12）。
2. 図 -12 からヒューミディスタットユニット上のディップスイッチの位置、表 6 から希望設定湿度のディップスイッチパターンを参照し、ディップスイッチ（S1 1 ～ 3 番ピン）の ON/OFF を変更してください。

図 -12 ヒューミディスタットユニット ディップスイッチ位置

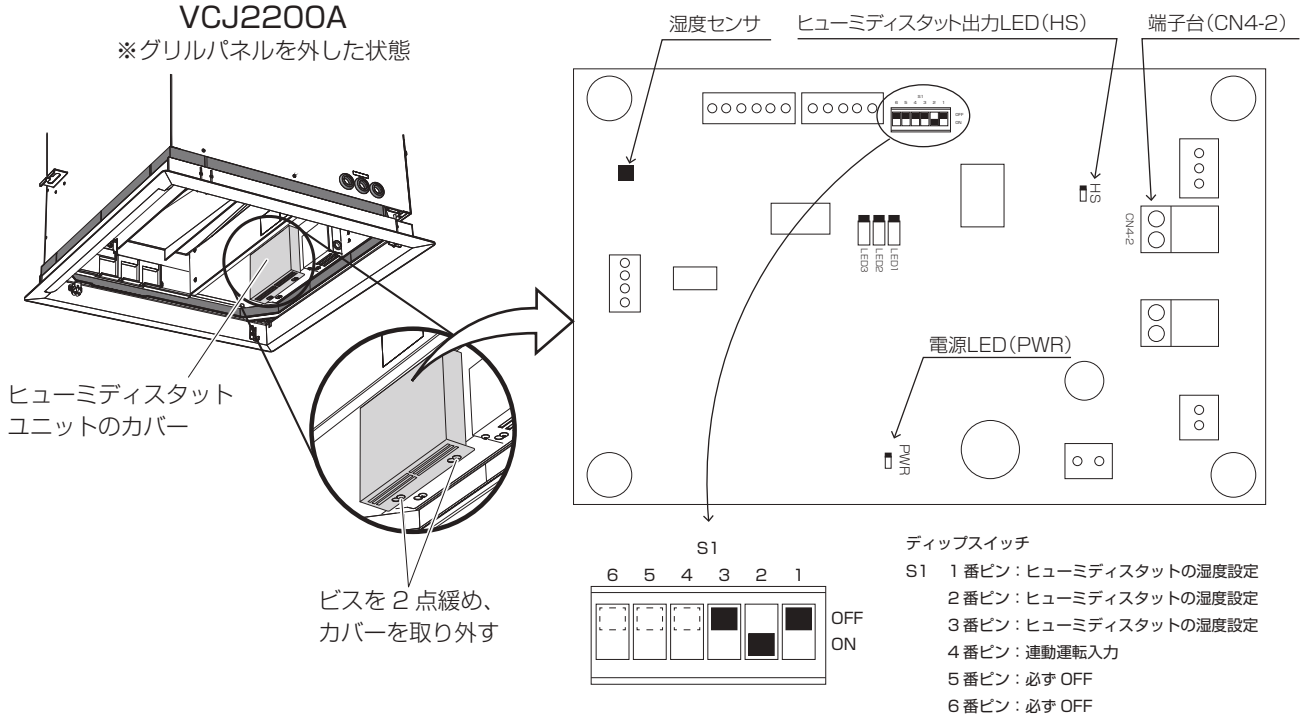


表 6 VCJ2200A に内蔵されたヒューミディスタットの湿度設定におけるディップスイッチ（S1）の組み合わせ

35%RH	40%RH（初期設定）	45%RH	50%RH
6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON

55%RH	60%RH	65%RH	70%RH
6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON	6 5 4 3 2 1 OFF ON

9 標準グループ制御以外の制御パターンについて

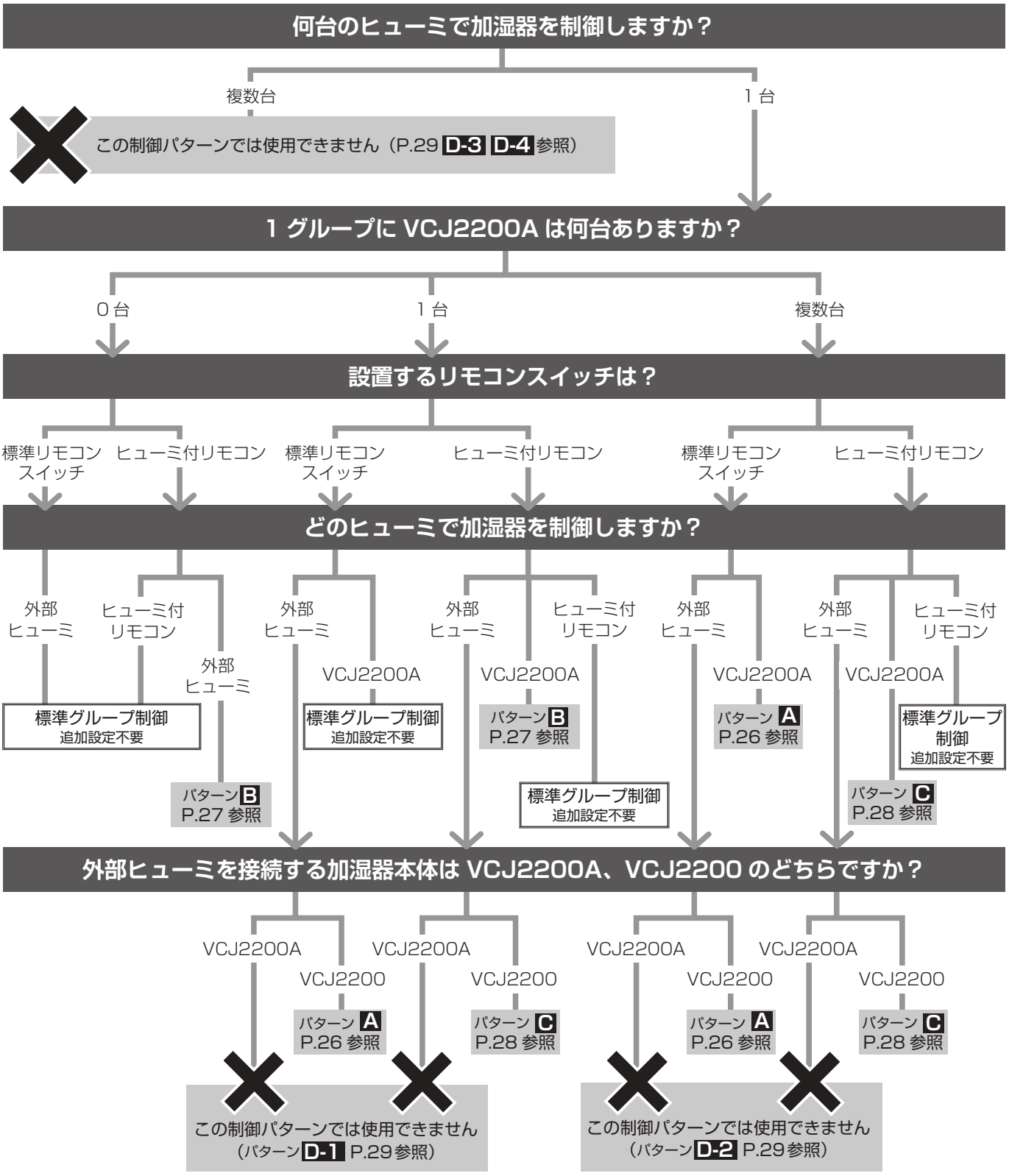
9-1 制御グループパターンの確認

注意

事前に計画された制御方法・設置場所に設置する

事前に計画された制御方法・設置場所に設置されない場合、正常な湿度検知ができないことがあります。

- ヒューミ内蔵型 VCJ2200A は、グループ制御、加湿制御を行う際に制約があります。
  下記フローチャートで計装パターンを確認し、標準グループ制御以外のパターンの場合は、参照ページに記載の設定作業を行ってください。

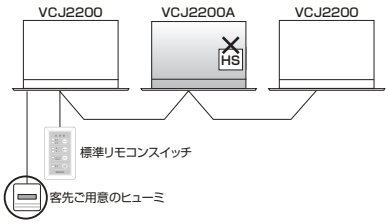


9-2 VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

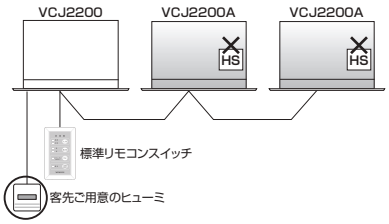
制御グループ パターン A

下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ2200A の内蔵ヒューミディスタットを無効化する必要があります。

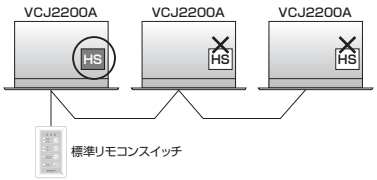
※○は湿度検知するヒューミディスタット、×は使用しないヒューミディスタットを表します。



VCJ2200（複数台）とVCJ2200A（1台）を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2200 に接続して使用する。



VCJ2200（複数台）と VCJ2200A（複数台）を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2200 に接続して使用する。



VCJ2200A（複数台）を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

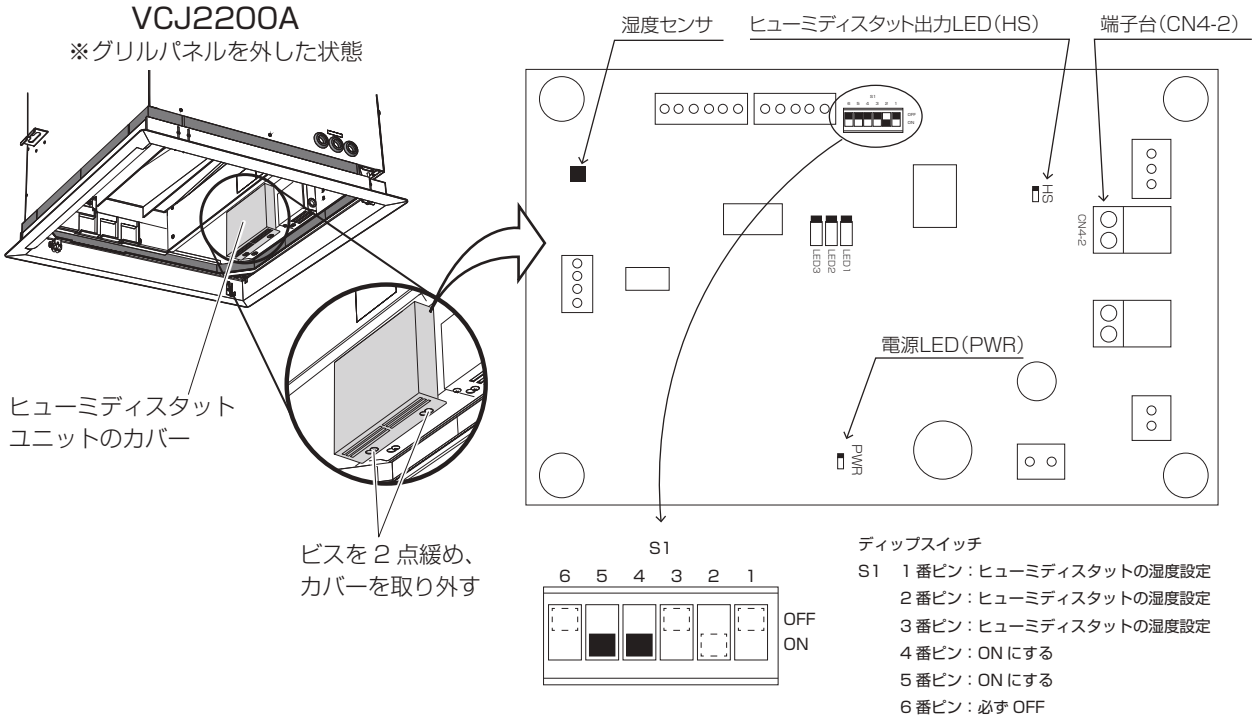
警告

ディップスイッチ切替作業は、必ず漏電ブレーカを遮断してから行う

通電したままの作業は感電の原因になります。

- VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する

1. 加湿器元電源の漏電ブレーカを OFF にします。
2. ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ DS4、DS5 を ON にする。
3. 加湿器元電源の漏電ブレーカを ON にします。



ディップスイッチ

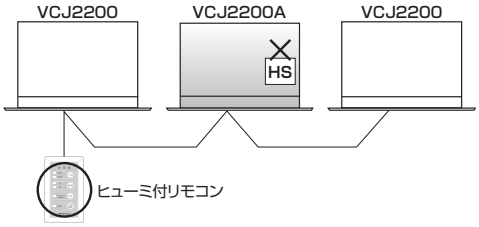
S1　1 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　2 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　3 番ピン：ヒューミディスタットの湿度設定
　　4 番ピン：ON にする
　　5 番ピン：ON にする
　　6 番ピン：必ず OFF

9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターン B

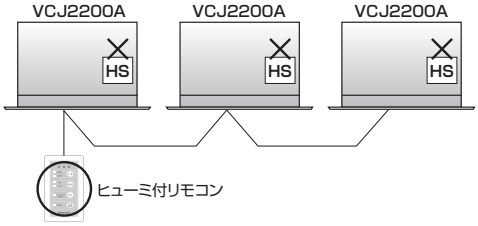
下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する設定が必要になります（初期設定では「ヒューミ付リモコンで湿度検知」するに設定されています）。

※〇は湿度検知するヒューミディスタット、✕は使用しないヒューミディスタットを表します。



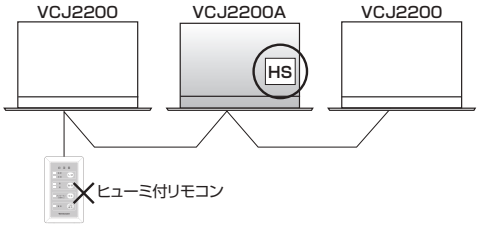
● VCJ2200（複数台）と VCJ2200A（1 台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、ヒューミ付リモコンのヒューミディスタットを使用する。

⇒初期設定のため、追加の設定は不要。



● 複数の VCJ2200A をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、ヒューミ付リモコンのヒューミディスタットを使用する。

⇒初期設定のため、追加の設定は不要。



● VCJ2200（複数台）と VCJ2200A（1 台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、VCJ2200A の内蔵ヒューミディスタットを使用する。

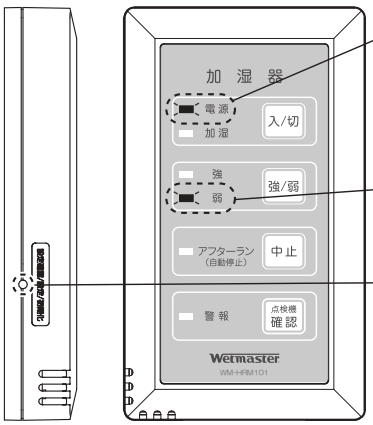
⇒下記 **1** ～ **3** の手順を参照し、設定を行う。

1 リモコンスイッチの電源表示灯が消灯していることを確認後、電源表示灯が点灯（緑）するまでサイドスイッチを長押しします（3秒程度、右図①）。

2 強 / 弱切替ボタンを押し、弱表示灯を「点灯」または「消灯」させ湿度検知するヒューミディスタットを選択します（右図②）。

ヒューミディスタットの切替における弱表示灯の点灯状態	
点灯	・VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタット ・客先ご用意の外部ヒューミディスタット
消灯	・ヒューミ付リモコンのヒューミディスタット（初期設定）

3 サイドスイッチを 2 回押します（右図③）。
強表示灯が 3 秒間点灯し、その後、強表示灯が消灯したら設定が保存され、完了です。



① リモコンスイッチの電源表示灯が消灯している状態であることを確認し、電源表示灯が点灯（緑）するまでサイドスイッチ※を長押しする（3秒程度）

② 強 / 弱切替 ボタンを押し、弱表示灯を点灯させる

③ サイドスイッチを 2 回押す

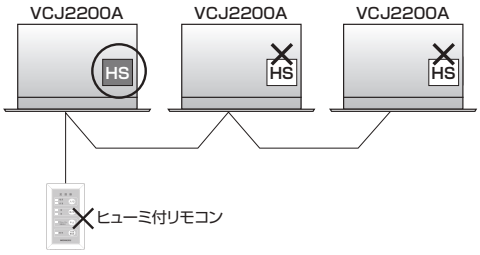
※サイドスイッチはピンホール内部にスイッチがありますので、ペン先などで押して設定してください。

9-4 VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化し、ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する

制御グループ パターン C

下記の計装パターンの何れかで施工する場合は、VCJ2200A の内蔵ヒューミディスタットを無効化にする必要があります。

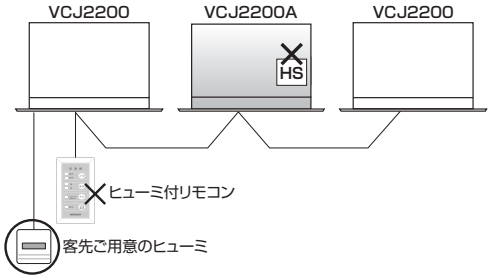
※○は湿度検知するヒューミディスタット、✕は使用しないヒューミディスタットを表します。



● VCJ2200A（複数台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、1 台（任意）の内蔵ヒューミディスタットを有効（親機）にして使用する。

1 P.26「9-2VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する」を参照し、湿度検知を行わないすべての VCJ2200A ヒューミディスタットユニットディップスイッチ DS4、DS5 を ON に変更し、内蔵ヒューミを無効化する。

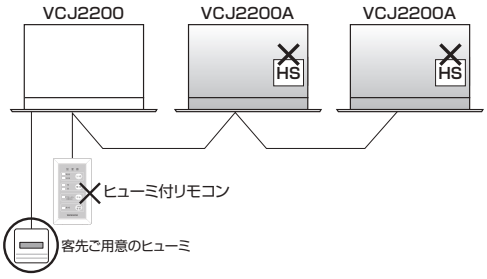
2 P.27「9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミを選択する」を参照し、湿度検知するヒューミを「VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタット」に設定する。



● VCJ2200（複数台）と VCJ2200A（1 台）をヒューミ付リモコンでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2200 に接続して使用する。

1 P.26「9-2VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する」を参照し、VCJ2200A ヒューミディスタットユニットのディップスイッチ DS4、DS5 を ON に変更し、内蔵ヒューミディスタットを無効化する。

2 P.27「9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「客先ご用意の外部ヒューミディスタット」に設定する。



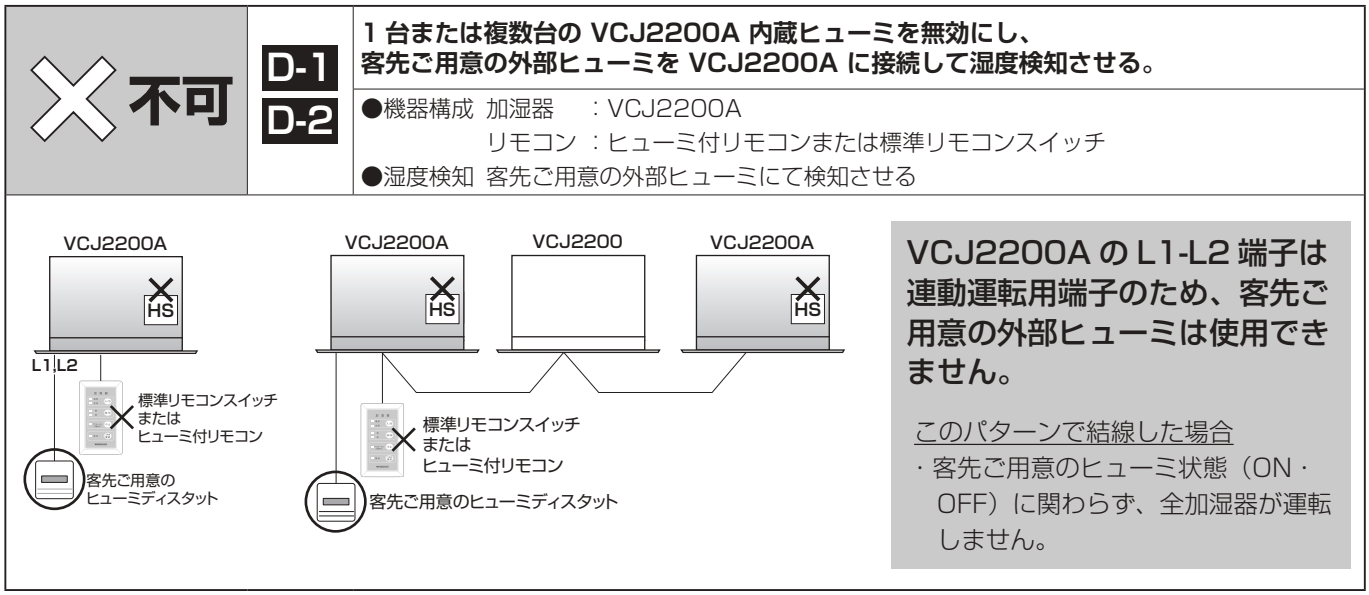
● VCJ2200（複数台）と VCJ2200A（1 台または複数台）を標準リモコンスイッチでグループ運転させる組合せで、客先ご用意の外部ヒューミディスタットを VCJ2200 に接続して使用する。

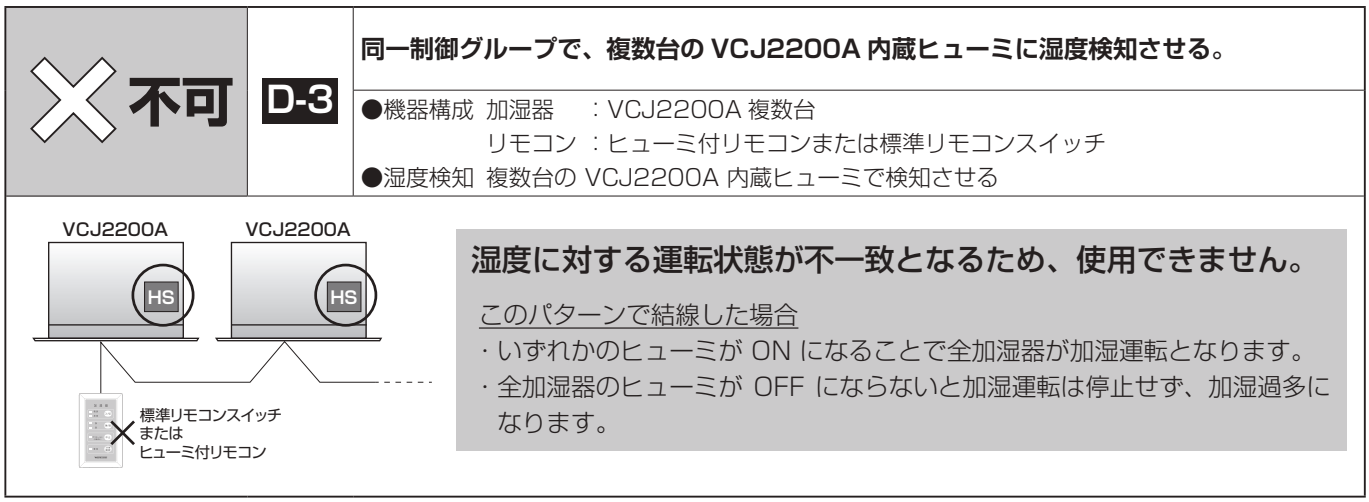
1 P.26「9-2VCJ2200A 内蔵ヒューミディスタットを無効化する」を参照し、湿度検知を行わないすべての VCJ2200A ヒューミディスタットユニットディップスイッチ DS4、DS5 を ON に変更し、内蔵ヒューミディスタットを無効化する。

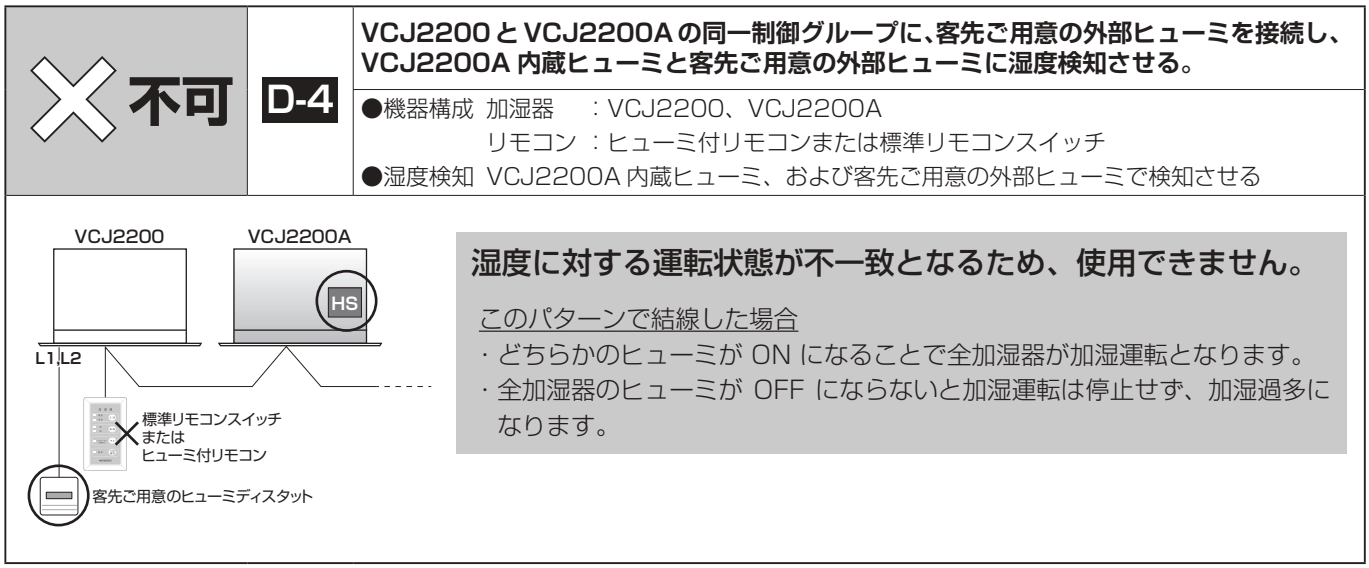
2 P.27「9-3 ヒューミ付リモコン上で湿度検知するヒューミディスタットを選択する」を参照し、湿度検知するヒューミディスタットを「客先ご用意の外部ヒューミディスタット」に設定する。

9-5 使用できない制御パターン

制御グループ パターン D
この計装パターンでは、以下の理由から対応することができません







ウエットマスター株式会社

本社営業本部 〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 WM本社ビル TEL.03-3954-1101

●加湿器のメンテナンス、リニューアルに関するお問い合わせは、最寄りの各拠点へご連絡ください。

保守・サービス営業本部	〒161-8531 東京都新宿区中落合 3-15-15 カスタマーセンター	TEL.03-3954-1110
大 阪 支 店	〒540-0024 大阪市中央区南新町1-1-2 タイムスビル	TEL.06-4790-6606
名古屋営業所	〒464-0858 名古屋市千種区千種 1-15-1 ルミナスセンタービル	TEL.052-745-3277
仙 台 営 業 所	〒981-3135 仙台市泉区八乙女中央 5-17-12	TEL.022-772-8121
福 岡 営 業 所	〒812-0004 福岡市博多区榎田 2-1-10	TEL.092-471-0371

●業務用・産業用各種加湿器

●流量管理システム機器／エアロQシステム・カラムアイ

https://www.wetmaster.co.jp

5710-018900